

福祉文教常任委員会協議会会議録

1 開会日	平成27年5月11日 午前 9時30分 開会 午前11時09分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席委員	高橋富美子委員長 片野哲生副委員長 坂田よう子委員 竹内恵美子委員 清水弘子委員 奥津勝子委員（議長）
4 傍聴議員	高橋英俊議員 二宮加寿子議員 渡辺順子議員 関威國議員 鈴木京子議員
5 説明員	中崎町長 栗原副町長 藤家教育長 佐野町民福祉部長 岩本教育部長 矢野町民課長 添田町民協働係長 山口スポーツ健康課長 吉田副課長兼健康増進係長 小島学校教育課長 山口副課長兼教育指導係長
6 職務のため 出席した職員	局長 増尾 克治 書記 波多野昭雄
7 協議等の事項	(1) 自転車駐車場整備事業等について (2) ロコモティブシンドロームの取組みについて (3) 大磯町附属機関の設置に関する条例の一部改正について 【大磯町いじめ問題対策・調査委員会の設置について】 (4) その他
8 その他	一般傍聴 なし

(1) 自転車駐車場整備事業等について

説明の前に、担当課から現場の説明をしたいとのことであるので、現場視察を行った。

自転車駐車場整備事業等について、担当課（町民課）から説明があった。説明概要は次のとおりである。

大磯町営自転車等駐車場条例の一部改正は、1点目、条例第2条名称及び位置の改正であり、新たに現在造っている駐輪場について設置する。駅前東自転車駐車場は、新しい駐輪場の設置以降、廃止の手続きになる。2点目、別表第1（第3条関係）で名称及び利用区分の改正である。新たな駐車場は、自動二輪車は排気量に区分がなかったが、125cc以上は運用実態がなく、今回50ccから125ccに限定した。3点目、別表第2（第5条関係）で区分及び駐車料の改正である。自転車の利用で、現在申し込みされた方は位置を指定していたが、今回最上階に屋根を設けない構造のため、雨天時の利用者の利便を図りたい。また、利用率の向上のため、できるだけ詰め込み式にしたいので、全車種共通で指定方式から自由方式にする。併せて、自転車の学生区分を廃止する。自動二輪車の区分を明確にする区分の改正である。

利用料金の設定の考え方は、1点目、23年5月に策定の大磯町第二次財政健全化計画（23年から27年）に、受益者負担の適正化、使用料・利用料の定期的な見直しがあり、23年度以降の社会的要因の経済状況等を考慮した料金設定をする。2点目、駐車場の年間運営収入と建設事業費のうち補助金を除く費用を、起債の償還年数20年と同じくらいの内容で負担できるように設定する。3点目、近隣の自転車等駐車場との比較で、理解の得られる価格設定をする。これらを基本に、区分の設定の見直しで、表を提案し、出入庫ゲートの採用により、機械式の料金徴収で、今回10円単位に分かりやすくした。随時駐車1回は、今まで人の管理であったので夜間はいなく、夜停めて朝出す人は2日間の扱いであった。機械式を採用することによって、1回を24時間と設定する考えである。

工事請負契約の契約金額の変更は、駐車場管理システム、ゲートタイプを設置する。実施設計段階から計画し、議会の説明の資料でも点線で書いていたが、建物の景観、コンパクトさを求めた地下階の利用、建設用地の独特な地質の複雑さで、基礎工事等が相当増加した経過がある。そのため、当初設計の中に見込むことができなかった。現在詳細に工事費用を積算中であるが、2,350万円くらいかかる。変更の理由は、システムの導入により交通系ICカードの使用を検討している。自転車駐車場の定期券として使うことができ、公共交通利用者の利便性が向上すると考える。機械式ゲートにより管理人員の削減が図られ、維持管理費の抑制で、人数は年平均1日当たり5.2人が3.4人に削減できる。

工事請負契約変更の対応は、機械の取り付けや配線工事を附帯工事と同時に施工し、工事間の調整や配線等に係る突起物を、最小限に抑えることができる。

本体工事同様に社会資本整備総合交付金の対象事業として2分の1国から補助がもらえる。同じような管理システムは、辻堂駅北口交通広場駐車場にあり、駐輪場の盗難事件を多く発生している中、ゲートを入れることにより、夜間においても防犯的な面で活用できる。以上2件は、6月議会定例会に提案する。

国の翌債承認(明許繰越)の確認により、期間の変更をする。工事請負契約の変更は、工事の完成期限は3月31日を8月31日とし、工事監理委託の変更は、9月30日までとする。

工事の進捗状況は、オーガーで掘削した中にH鋼を建て込んで、建て込んだ間を掘って矢板を仕上げていく仮設法である。ケーシング建て込みは、鉄状の筒を機械でもみながら入れていき、残土をクレーンで搬出する。加工した鉄筋をこの中に挿入し、生コンを打ち込みながら鉄枠を引き抜き、コンクリートの基礎ができる。これを現場打ちコンクリートといい、これを土台としてやわらかいところに21本出来ている。

今回の工事の特徴は、硬い所とやわらかい所があり、硬い所はそのまま直に柱を乗せる形で、やわらかい所は、杭を打ちその上にのせる形をとっている。杭の直径は大体1mである。

工事の工程の進捗は、現在のところ順調に経過している。これから、土工事、基礎、建屋工事など実施工程を詳細に検討しながら詰めていく。土砂の搬出は、9時以降に交通整理員2名立たせ、前後の安全性を確認しながら行っている。駅前利用が集中する朝の時間帯の交通対策は、小学校登校時間帯は、地域交通ボランティアの方々3名から4名、駅前交番の警察官も時間の許す限り立ち番をして、道路横断者への交通安全見守りをしている。工事車両は、通行繁忙時間を避けた9時以降の出入りとして、誘導員を配置している。東駐輪場、仮設の自転車駐輪場は、町で管理委託しているシルバー人材センターが、歩行者の横断と自転車、オートバイの交差の安全を朝のとき見ている。建物の横格子の概観は、茶色とこげ茶で色見本を作り、締まって見えるこげ茶で進め、緑をどのように配置するかが今後の課題である。

### ◎主な質疑

問. 国の社会資本整備総合交付金の対象事業になるので、国から2分の1補助になるのか。県からもあるのか。

答. 増額部分は、2分の1が国の補助対象で、あと2分の1は単独費の導入になる。

問. 増額でない部分は、交付金交付対象事業として国から半分であるのか。増額する2,350万の半額は国から出るのか。

答. 総額はおおむね2分の1の補助で、今回の追加分も2分の1補助がもらえる。

問. 変更理由で、管理人員削減による維持管理費の抑制は、シルバー人材センターの管理している方たちはどうなるのか。管理システム導入後は、その人たちはどのような待遇になるのか。

答. 駐輪場を1つにまとめて、人件費の抑制を出来るだけ図る。1.8人減になるが、無人にするのではないので、シルバーさんの力を借りながら、有人のものとして維持管理していく。

問. シルバー人材センターには、その旨をきちんと説明しているか。

答. この提案をする前に、話をしている。

問. ICカードの利便性の点などはどうか。大磯で働くところが少ないので、駐輪場は人を使って生きがいになると思うが、その辺の検討は内部でしたか。

答. ICカードは最近流行で取り入れて、現金取り扱いがなく過ちが無くなる。駐輪場が余りに機械的になりすぎると、なじみのない施設になるので、人を配置しやっっていく。雇用の喪失になるのは事実である。

問. 機械の耐用年数はどれくらいか。

答. おおむね12年を見込んでいる。

## (2) ロコモティブシンドロームの取組みについて

ロコモティブシンドロームの取組みについて、担当課（スポーツ健康課）から説明があった。説明概要は次のとおりである。

平成26年度の事業は、平成26年9月10日に産官学連携事業として、アンチロコモ教室を記者発表し、事業をスタートした。発表当時23の新聞記事等で取り上げていた。

平成26年度事業の概要は、平成26年9月から6ヶ月間、月1回健康講話、体操指導、レクリエーション、下肢筋力測定を行い、日々自宅で体操をし、「いけいけ手帳」に1日の歩数や体操を何回やったか記入する。事業の検証結果を、平成27年3月に三者により結果発表をした。検証の結果、参加者の約84パーセントに下肢筋力の向上、参加者の85パーセントが継続参加の結果が得られた。検証結果は、5社の新聞記事として取り上げられた。26年度のロコモティブシンドロームのアンチロコモ教室は、ロコモティブシンドロームの予防知識を高める目的で開始したが、課題としては、教室に参加していない運動機能の低下している方をいかに教室に誘い、介護予防につなげていくかであると認識している。

平成27年度は、この課題を解決するため、ロコミル（ロコモを診る）という、アルケアと東海大学と町三者で名づけて、国民健康保険の特定健康診査、保健センターで行う集団健診の場で、①立ち上がりテスト、②2STEPテスト、③ロコモ25、④下肢筋力測定、⑤握力測定を無料で行う。

①立ち上がりテストは、片足または両足で決まった高さから立ち上がれるかどうかで脚力を測る。②2STEPテストは、最大2歩幅を測り歩行能力を総合的に評価する。③ロコモ25は、25問の自記式質問票で運動器に関連した日々の状況を調べる。④下肢筋力測定は、膝を伸ばす筋力の測定である。⑤握力測定は、握力の測定である。

下肢筋力低下者を把握し、アンチロコモ教室への参加を促していく。この取り組みにより、特定健診の受信率が伸び、運動器を検査することが新しい大磯発の健診となって、他の自治体でも取り組めるものとしていきたい。

今年度、アンチロコモ教室は、ロコミル、特定健診で下肢筋力の低下が分かった人と広報等で募集した人で教室を行う。初回の9月と最終回の2月に測定を行い、変化を診る。10月から1月までは、月1回健康講話やレクリエーション、体操指導などを行い、日々の歩数や体操を行った数などを、「いけいけ手帳」に記入する。

講話による「ときどき学び」、日々の体操や歩数による「日々努力」、「いけいけ手帳」に記入することによる「日々振り返り」、月1回の下肢筋力測定による「ときどきからだチェック」という健康に対するサイクルにより、下肢筋力が維持向上できるよう努める。今後数年をかけて、ロコモとメタボの関係も検証を行う。ロコミル、アンチロコモ

教室の一連の事業は、県が進めている未病を治すコンセプトと合致していることから、県が主催している未病産業研究会と連携していることから、県により情報発信されるかもしれない。ロコミルは他の自治体でも行えるか、健診として実施できるか色々な角度から検証し、1つの健診産業となるよう実施する。

#### ◎主な質疑

問. 全部医療機器メーカーとか大学がかかるお金を出して、大磯町としては負担があるのか。

答. 大磯町の経費は、場所の提供、がん検診で一緒に受付している人件費である。

問. 町と大学が提携して先行してやり、それを各自治体に売り出すことをやっているのか、大磯もそうなるかと思うがどうか。

答. 特定健診で取り組むのは初めてで、この健診がいくらだったら受けられるか、色々検証しながら他の自治体でも出来るようにする。

問. 下肢能力低下者のところにアクセスやどのくらいの人へのアップを考えているか。

答. 特定健診でロコミルをやってみて、下肢筋力が低下している方にアンチロコモ教室に参加していただく。

問. 産官学連携事業で、県の未病に対する研究会と町のこの事業が、どのように今後具体的に展望が開かれるのか。未病産業の分野で、未病産業を大磯町の産業の大きな核に出来るチャンスであるが、どのように県と取り組むのか。

答. 県は電通に委託している未病産業研究会がある。超高齢化社会において成長産業となり得る神奈川発の未病産業という新たな産業を創出することで、国民の健康寿命の延伸、日本経済の活発を目指し、新たなヘルスシステムを創設する研究会である。今延べ148社くらい参加している。未病産業研究会で、経済産業省の補助金を獲得しようとする動きがあり、その中の1つのテーマに、大磯の取り組みのアンチロコモ教室とロコミルの部分がある。これから未病産業として、何かされていく可能性があるかと認識している。

問. 大磯町の健康は実績も積んできていて、大磯町のこの事業がきちんと未病産業になることを期待するが、県と今後どのような形になるのか。

答. 未病は3つの要素は①食、②運動、③社会参加で、この3つの機能を中心に県は未病産業を興そうとしている。健診産業に運動器健診という新たな事業、新たなジャンルをつくり、それが産業に発展していけばいい。大磯町が発信地として色々なメリットが出てくれば、大磯町にとって町民にとっていいことなので、たくさん参加を得てデータを出して、県に繋がればと思っている。

#### (3) 大磯町附属機関の設置に関する条例の一部改正について

##### 【大磯町いじめ問題対策・調査委員会の設置について】

大磯町附属機関の設置に関する条例の一部改正について、担当課（学校教育課）から説明があった。説明概要は次のとおりである。

本年3月に大磯町におけるいじめ対策の総合的かつ効果的な推進を図るため、大磯町

いじめ防止基本方針を策定し、「大磯町いじめ問題対策・調査委員会」の設置を示していた。

設置の目的は2つあり、1つ目は、いじめ防止対策推進法第14条第3項の規定により、町のいじめ防止基本方針に基づく、いじめ防止対策を実効的に行うための審議を行う。2つ目は、いじめ防止対策推進法第28条第1項に基づき、いじめの重大事態を明確にする調査を行う。この2つの目的のため、教育委員会の附属機関として「大磯町いじめ問題対策・調査委員会」を設置する。委員会の構成は、弁護士、心理や福祉の専門家、学識経験者、人権擁護委員、区長会代表、民生委員児童委員代表、町立小・中学校PTA代表、県教育委員会指導主事の計8名で、委員の任期は2年である。委員会の開催は、毎年7月ごろに大磯町いじめ防止基本方針に基づく対応の状況等の検証内容を予定している。ただし、本年度は初年度であり、2回の実施を考えている。重大事態が起こった場合に、いじめの重大事態を明確にするための調査を行う委員会は、必要に応じて開催する。6月議会で審議していただく。

#### (4) その他

特になし。

その他委員会からの意見はなく、福祉文教常任委員会協議会を終了した。

---

---